



U.S. DEPARTMENT OF
HEALTH AND HUMAN SERVICES

www.hhs.gov/news | 202-690-6343

FOR IMMEDIATE RELEASE

ケネディ長官、マイアミでの「健康を取り戻そう」ツアーで病院の栄養改善への取り組みとフロリダ州の農業パートナーシップを称賛

マイアミ発 — 2026年3月30日 — ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は、全米を巡る「健康を取り戻そう」ツアーの最新行程として、本日、フロリダ州の農場と病院の給食システムを直接結びつけることで、栄養重視の患者ケアを強化するという病院の新たな取り組みを称賛しました。

ケネディ長官はまた、メディケア・メディケイドサービスセンター（CMS）が、病院に対し、米国人のための食事ガイドラインに沿った食事を提供し、超加工食品、加糖飲料、精製炭水化物、添加糖の摂取量を削減することで、患者の栄養基準を満たすよう指示する品質・安全に関する特別警告を発令したことを発表しました。

このイベントは、アメリカ・ファースト政策研究所がニックラウス小児病院で開催し、ケネディ長官はCMS長官のメフメト・オズ医師とともに、医療経営者や医療従事者とのリーダーシップ円卓会議に出席しました。議論は小児医療、慢性疾患予防、そして健康状態の改善における栄養の役割に焦点を当て、その後記者会見が行われました。

ケネディ長官は、「ニックラウス小児医療システムの社長兼CEOであるマシュー・ラブ氏と、彼の素晴らしいチームの皆様の温かいおもてなし、リーダーシップ、そして患者さんの食卓に本物の食材を届けるという献身的な姿勢に感謝いたします」と述べました。「質の高い医療は質の高い食事から始まります。本日発表された施策は、患者さんの健康状態の改善、慢性疾患の予防、そしてアメリカの健康増進に貢献するでしょう。」

円卓会議において、ケネディ長官とオズ長官は、病院が質の高い栄養ケアを提供する法的義務を改めて強調するCMS特別警告を発表しました。このガイドラインは、病院に対し、栄養価の高い未加工食品と十分なタンパク質を優先し、超加工食品と添加糖を制限する「2025~2030年版米国人のための食事ガイドライン」に沿って食事サービスを提供するよう指示するものです。

この覚書は、既存のメディケア参加条件を改めて強調し、病院に対し以下の事項を義務付けています。

- 個々の患者の栄養ニーズを満たすこと
- 栄養士による監督を維持すること
- 治療食マニュアルを最新の状態に保つこと
- 栄養を質とパフォーマンス改善プログラムに組み込むこと

さらに、CMSは病院に対し、献立、食材調達方法、栄養プロトコルを最新の連邦政府の食事ガイドラインに反映させるよう促しました。

「医療において、食事は後回しにされるべきではありません」と、CMS長官のオズ博士は述べています。「病院が患者の食事内容とカルテの内容を一致させることで、患者の回復を早め、合併症を回避し、長期的な健康状態を改善する可能性が高まります。病院と地元の農家を直接結びつけることで、単に食事の質を向上させるだけでなく、栄養を不可欠な医療として捉えるケアモデルを再構築しているのです。」

ニックラウス小児病院は、フロリダ州の農家との直接的なパートナーシップを通じて栄養改善への取り組みを正式に表明する、画期的な誓約書に署名しました。これにより、新鮮な地元産の食材を畑から患者の食事トレイまで届けることが可能になります。

フロリダ州農務消費者科学局が策定したこのパートナーシップは、病院がフロリダ州の生産者からより多くの食材を調達し、患者の栄養戦略を強化し、これまで農場から病院への食材調達を阻害してきた長年の調達・契約上の障壁を取り除くための道筋を確立するものです。

ニックラウス小児病院は、この誓約書に署名した最初の医療機関であり、全米の病院にとって模範となる存在です。

この取り組みは、以下の点を支援します。

- 農場から病院への食材調達の拡大と、地元生産者向けの調達経路の効率化。
- 栄養サービスと調理に関連する人材育成・研修プログラム。
- 特定の患者層に合わせた、医学的に最適化された食事戦略。
- 病院がメニュー全体の食品の質と栄養密度を向上させるためのパートナーシップ。

「フロリダ州の農家と消費者を結びつける取り組みは、まさに三方良しです。消費者に健康的な食品を届け、地域経済を支え、国内供給を通じて国家安全保障を強化することができます」と、フロリダ州農務長官のウィルトン・シンプソン氏は述べました。「フロリダ州農務省はフードバンク向けのプログラムを成功させており、この『ファーマーズ・フィーディング・フロリダ』プログラムを病院や患者にも拡大する準備ができています。トランプ大統領とその政権によるこの取り組みへのリーダーシップに感謝します。」

訪問中、ケネディ長官は病院のパンダ・ケアーズ・センター・オブ・ホープで小児患者とその家族と面会し、思いやりのある患者中心のケアにおける栄養の役割を強調しました。

「ニックラウス小児病院を代表して、米国保健福祉省が家族の健康と福祉に尽力されていることに感謝申し上げます。生涯にわたる健康の基盤は栄養にあることを私たちは理解しており、だからこそニックラウス小児病院はフロリダ州で初めて『食は健康：健康を取り戻そう』という誓約に署名した医療機関であることを誇りに思います」と、ニックラウス小児病院ヘルスシステムの社長兼 CEO であるマシュー・A・ラブ氏は述べています。「私たちの食と栄養に関する取り組みは長年にわたり先駆的な役割を果たしており、この国家プログラムの一環として、栄養をケアの重要な要素としてさらに高めていくことに引き続き尽力してまいります。フロリダ州の農業コミュニティと連携することで、患者に提供する食品の質と鮮度を高め、地域経済の活性化に貢献し、私たちがサービスを提供する子どもたちとその家族のより健康的な未来を創造するという私たちの決意を改めて表明します。」

ケネディ長官のマイアミ訪問は、全米各地で行われている「健康を取り戻そう」ツアーの一環であり、医療関係者、農家、教育者、政策立案者らが一堂に会し、トランプ大統領の「アメリカを再び健康にしよう」という指示を推進するものです。

###

FDA がハンター症候群の神経症状治療薬を承認したことについて…

米国食品医薬品局 (FDA) は、ハンター症候群 (ムコ多糖症 II 型、MPS II) の特定患者に対する治療薬として、アヴラヤ (ティビデノフスプアルファ-EKNM) を承認しました。

FDA 長官のマーティ・マカリ医師 (医学博士、公衆衛生学修士) は、「本日は、ハンター症候群と闘う子どもたちとその家族にとって、画期的な日です」と述べました。「FDA は 2 つのを行うことができます。1 つは規制上の柔軟性を発揮すること、もう 1 つは、有効性に関する『十分な証拠』に基づいて医薬品を承認するという、法律上の義務を遵守することです。私たちは、希少疾患の治療法開発を加速させるために、あらゆる努力を続けていきます。」

「アヴラヤは、ハンター症候群の神経学的合併症に対処するために承認された初の製品です。ハンター症候群は、小児に発症する非常に稀で、しばしば重篤な X 連鎖性疾患であり、ほぼ男児のみに見られます」と、CDER (医薬品評価研究センター) 所長代理のトレイシー・ベス・ホーク医師 (医学博士) は述べています。「今回の迅速承認は、代替エンドポイントである脳脊髄液中のヘパラン硫酸の減少に基づいています。審査チームは、この減少がアヴラヤの臨床効果を合理的に予測できると判断しました。ヘパラン硫酸は、この疾患で体内に蓄積するグリコサミノグリカンの一つであり、幼児期に発生する臓器障害と関連しています。本剤の申請者であるデナリ・セラピューティクス

社は現在、本剤の臨床効果を評価するための無作為化臨床試験を実施しており、95%以上の被験者が登録済みです。それまでの間、ハンター症候群の幼い子供を持つ家族は、人生で最も効果が期待できる重要な時期に、病気の経過を好転させる可能性のある製品を利用できるようになります。」

ハンター症候群は、グリコサミノグリカンと呼ばれる糖分子が細胞のリソソーム内に蓄積する、まれな遺伝性リソソーム疾患です。この基質の蓄積は、骨格、心臓、呼吸器系、脳、その他の臓器の異常を引き起こし、身体的および精神的発達に影響を与えます。

ヘッドライン：

- ロイター通信：米国 FDA、デナリ社の小児向け遺伝性疾患治療薬を承認
- Fierce Pharma：FDA、デナリ社のハンター症候群治療薬を承認、希少疾患コミュニティに朗報
- STAT：FDA、デナリ・セラピューティクス社のハンター症候群治療薬を承認
- BioSpace：FDA のハンター症候群承認で、デナリ社は希少疾患分野に「歓迎すべき朗報」をもたらす
- サンフランシスコ・ビジネス・タイムズ：13 年の歳月と 20 億ドルの投資を経て、デナリ・セラピューティクス社が初の医薬品承認を獲得
- Medpage Today：FDA、希少疾患治療薬の迅速承認で規制の柔軟性を示す
- Neurology Live：FDA、神経型ハンター症候群治療薬「チビデノフスプ・アルファ」に迅速承認を付与
- Contemporary Pediatrics：FDA、ハンター症候群治療薬「アヴラヤ」を承認
- FirstWord Pharma：デナリ社の酵素補充療法、ハンター症候群治療薬として米国で承認を獲得
- Pharmacy Times：FDA ハンター症候群の神経症状を標的とするチビデノフスプ アルファ-eknm を FDA が承認
- MedCity News：デナリ・セラピューティクス社の FDA 承認は、脳透過性薬剤の新たな道を切り開く
- BioPharma Dive：FDA がデナリ社の薬剤を承認、希少疾患バイオテクノロジー企業にとって「明確な一歩」
- PharmaExec.com：ハンター症候群治療薬アヴラヤを FDA が承認

Doctors & Scientists：

- ノースカロライナ大学チャペルヒル校のムエンザーMPS 研究治療センター所長であり、小児遺伝学の著名な教授であるジョセフ・ムエンザー医師（医学博士）は、プレスリリースで次のように述べています。「アヴラヤの FDA 承認は、ハンター症候群コミュニティにとって約 20 年ぶりの画期的な治療法の進歩を意味します。ほぼすべての患者にみられるハンター症候群の神経症状は、コミュニティにとって最も困難で根深い医療ニーズの一つであり、中心的な課題となっています。」長年にわたる科学研究の成果です。ハンター症候群に対する FDA 承認済みの初の脳浸透型薬剤として、AVLAYAH は患者さんの治療方法を大きく変え、新たな標準治療となる可能性を秘めています。
- デナリ・セラピューティクスの最高医療責任者兼開発責任者であるピーター・チン医師は、プレスリリースの中で次のように述べています。「本日、AVLAYAH が迅速承認されたことは、ハンター症候群コミュニティにとって重要な進歩です。中枢神経系と末梢神経系の両方に到達するように設計された、この疾患を抱える患者さんの神経症状を治療するための FDA 承認を受けた、最初で唯一の酵素補充療法です。」
- フーマン・デイビッド・ヘマティ医師（医学博士、眼科専門医、研究科学者）は、X 誌を通じて次のように述べています。「ハンター症候群は、細胞内に毒素が蓄積することで、五感と全身の臓器系に影響を与える、稀で重篤な、これまで治療法のない疾患です。本日、米国 FDA が新たな治療法を承認したことで、患者とその家族に希望がもたらされました。たゆまぬ努力を重ねた研究者の方々、そして審査プロセスにおいて科学的な厳密さを適用したマカリ博士（FDA）とそのチームに敬意を表します。」
- ラシッド・アキキ医師（医学博士、経営学修士）は、X 誌を通じて次のように述べています。「希少疾患の承認は、治療のタイミングを変える場合に最も大きな意味を持ちます。ハンター症候群の神経症状に対するアヴラヤの FDA 承認は、神経症状が進行する前の早期段階の患者を対象としている点で注目に値します。これが真の教訓です。希少疾患においては、スピードは単なる議論の材料ではなく、治療戦略の一部なのです。この分野で活動する家族や医療チームにとって、タイミングはまさにすべてを左右するかもしれません。」

支援団体および関連団体：

- 全米 MPS 協会会長兼 CEO のテリー・クライン氏は、プレスリリースを通じて次のように述べています。「バイオマーカーを代替エンドポイントとして用いた MPS II に対する迅速承認は、MPS および希少疾患コミュニティにとって画期的な日です。これは、これらの深刻な疾患

に苦しむ家族にとって時間が極めて重要であることを認識するとともに、MPSをはじめとする他の希少疾患における医薬品開発をより広範に加速させる可能性を示しています。この承認は、強力な科学的根拠と支援活動が結びつくことで、MPS やその他の希少疾患を抱え、治療法を待ち望む人々にとって、意義のある変化、継続的な進歩、そして希望が実現可能であることを証明しています。」

- プロジェクト・アライブのエグゼクティブ・ディレクターであり、ハンター症候群のお子さんを持つ親でもあるクリスティン・マッケイ氏は、プレスリリースの中で次のように述べています。「ハンター症候群を抱えるご家族にとって、病気の進行は容赦なく続く一方で、回復はしばしばわずかなものを感じられます。多くの方にとって、病気の進行は認知機能への影響を伴い、すでに困難な診断に精神的な負担をさらに加えることとなります。ご家族は脳に直接作用する新たな治療法を待ち望んでいました。そのため、この新しい治療法が利用可能になったことは、私たちのコミュニティに新たな希望と楽観をもたらします。」
- 2歳のMPSの息子を持つ母親、メーガン・セルサーさんはSTAT誌にこう語っています。「ハンター症候群とMPSの家族は、まさにこの瞬間のために何世代にもわたって闘ってきました…」
- ハンター症候群の擁護者、ローレン・ホルダーさんはX誌にこう語っています。「#ハンター症候群 #希少疾患コミュニティにとって、この勝利は本当に嬉しいです！おめでとうございます！#希少疾患を守ろう」
- ハンター症候群の息子を持つ母親、サラ・ミッチェルさんはX誌にこう語っています。「神に感謝します…デナリ社のこの新薬は、ハンター症候群の新たな標準治療となるでしょう。血液脳関門を通過するので、まさに私たちが必要としていたものです。本当に嬉しいです。FDAは期待に答えてくれました。綿密に設計された臨床試験で、決定的なデータが得られました。それに、この薬で素晴らしい成果を上げている子どもたちもいます…」
- デナリ・セラピューティクス社 CEO 兼共同創設者、ライアン・ワッツ博士プレスリリースより：「今回の承認は、MPSコミュニティの決意と連携、そしてFDAがバイオマーカーのエビデンスを取り入れ、緊急に必要とされる治療法の開発を加速させるための協力的な取り組みを反映したものです。」
- アルニラム・ファーマシューティカルズ創業者兼CEOのジョン・マラガノール氏（X誌より）：「患者さんにとって素晴らしいニュースです！@US_FDA @DrMakaryFDA。重要なのは、これが血液脳関門を通過できるシャトルを利用した治療法の初の承認であり、バイオ医薬品やオリゴヌクレオチドを用いた神経変性疾患および神経疾患の治療に重要な意味を持つということです！」
- スティフェル証券のアナリスト、ポール・マティス氏（BioPharma Dive誌より）：「希少疾患治療薬開発企業にとって、正しい方向への明確な一歩です…」

###

ASPR、2026会計年度／予算期間3における病院準備プログラム継続に関するガイダンスを発表 病院準備プログラムは、災害や緊急事態に対する国家の備えと対応能力を強化します。

ワシントン D.C. (2026年3月23日) ——米国保健福祉省 (HHS) 傘下の戦略準備・対応局 (ASPR) は、2024会計年度から2028会計年度までの協力協定に基づく第3予算期間における病院準備プログラム (HPP) のガイダンスを更新しました。第3予算期間は2026年7月1日から2027年6月30日までで、この期間の活動のために2億4,000万ドルの資金が2026年7月1日までに利用可能となります。

「今回の改訂されたガイダンスは、災害や緊急事態への対応に向けた国家の準備態勢を継続的に強化する病院準備プログラム (HPP) の受給者を支援するものです」と、準備・対応担当次官補代理のジョン・ノックス氏は述べました。「先日、2026年から2029年までの新たな戦略計画を発表しました。州および地方自治体の準備態勢と回復力を強化する取り組みへの投資は、ASPR (準備・対応担当次官補) にとって最優先事項です。対応は常に地域レベルから始まるため、受給者と医療連携組織の重要性が改めて浮き彫りになります。」

この新たなガイダンスには、受給者が今後の予算期間中に HPP 活動を実施する際に役立つ重要な更新と明確化が含まれています。受給者は、災害や緊急事態発生時に、患者が適切な場所で適切なタイミングで適切な医療を受けられるよう、州および地方自治体の準備態勢を強化する取り組みを進めています。

HPP 協力協定は、医療の準備と対応のための連邦政府資金の主要な供給源です。ASPR の HPP (医療準備プログラム) 受給機関 62 団体 (全 50 州、米領、自由連合州を含む) は、日常的な医

療・緊急対応システムの能力を超える緊急事態発生時に人命を救えるよう、医療提供体制の整備に取り組んでいます。

これらの団体は主に、全米各地の特定の地域内で連携して活動する公的・私的医療機関および緊急対応機関のネットワークである医療連合への支援を通じて、この活動を行っています。HPPを通じて、受給機関とその連合は、医療需要急増への対応訓練や、強固な計画・連携システムの構築といった、日々の重要な準備活動を実施しています。これらの活動は、連合メンバー間の資源と情報の共有を促進し、患者が最も必要な時に、より効率的に必要な医療を受けられるようにします。

HPP 協力協定の詳細については、

<https://aspr.hhs.gov/HealthCareReadiness/HPP/Pages/CARRR.aspx> をご覧ください。

HPP に関する詳細は、<https://aspr.hhs.gov/HealthCareReadiness/HPP/Pages/default.aspx> をご覧ください。

ASPR について：

ASPR は、米国を代表する保健安全保障機関です。災害発生前の備えを推進し、国内の医療サプライチェーンを確保し、最高水準の科学研究を推進し、人命が危機に瀕した際には迅速かつ責任ある連邦政府の対応を提供します。私たちは、州、地方自治体、部族、準州、他の連邦機関、そして民間企業と連携し、国内の備えを強化しています。外国への依存度を低減するために米国内の製造業に投資し、納税者の資金を透明性、規律、そして測定可能な成果に基づいて管理しています。ASPR は米国民を守り、米国がいつでもどこでも、国家安全保障に対するあらゆる脅威に備え、対応し、復旧できることを保証します。

###

報道関係者向け情報 — 企画立案のみを目的としています

米国保健福祉省 (HHS) 主催 第 1 回全国女性会議

米国保健福祉省は、女性の健康に関する初の会議を開催します。本会議では、専門家、研究者、政策立案者が一堂に会し、女性の生涯にわたる健康問題に関する研究、予防、診断、治療における最新の進歩について議論します。

参加者：

米国保健福祉省幹部

女性の健康分野における主要な研究者および臨床医

公衆衛生専門家および政策立案者

日時：

3月12日(木) 午前9時～午後6時(米国東部標準時)

3月13日(金) 午前9時～午後1時(米国東部標準時)

報道関係者は、木曜日と金曜日の午前8時30分(米国東部標準時)までにバッジをお受け取りください。

場所：

オムニ・ショアハム・ホテル

2500 Calvert Street NW

ワシントン D.C. 20008

参加申し込み：

報道関係者は、3月10日(火)午後3時(米国東部時間)までに取材許可証を申請してください。

氏名、電話番号、身分証明書情報を明記の上、media.ncwh@hhs.gov までメールで申請してください。

参加者全員は、入場時に有効な政府発行の REAL ID またはパスポートを提示する必要があります。

###

ケネディ長官とマクマホン長官、将来の医師のための栄養学研修強化に向けた医学部各校の取り組みを祝福

ワシントン D.C. — 2026 年 3 月 5 日 — 米国保健福祉省 (HHS) と米国教育省は本日、全米トップクラスの医学部 53 校の代表者を集め、次年度から将来の医師に対し、意義のある栄養学研修を義務付けることを発表した。

米国医師会会長のボビー・ムクマラー博士、米国医科大学協会会長のデビッド・スコートン博士、米国整骨医学大学協会会長のロバート・ケイン博士、ネブラスカ大学システム総長のジェフリー・ゴールド博士が、ケネディ長官とマクマホン長官とともに、HHS でこの重要な節目を祝った。

31 州の医科大学は、2026 年秋から、学生に対し少なくとも 40 時間の栄養教育、またはそれに相当する 40 時間の能力認定を提供することを約束しました。これらの合意は、トランプ政権の栄養教育支援への取り組みを反映したものであり、本日、医学教育界はこのニーズに応えるべく立ち上がりました。

「慢性疾患は私たちの医療制度を破綻させており、栄養不良はその危機の核心にあります」と、ロバート・F・ケネディ・ジュニア厚生長官は述べました。「本日、医科大学は、栄養を本来あるべき場所、すなわち患者ケアの中心に据えることで、アメリカの医師養成方法を変革することを約束しました。」

「本日の発表は、医科大学が将来の医師や医療リーダーを育成する上で、栄養と予防を最優先事項として位置づけることができることを示しています。公衆衛生において不可欠でありながら見過ごされがちな栄養教育の強化に、数十の医科大学が立ち上がったことを光栄に思います」と、リンダ・マクマホン米国教育長官は述べました。「アメリカを再び偉大な国にするためには、国民の健康を増進しなければなりません。そして、主要大学による今日の取り組みは、その道筋における重要な一歩です。」

「今日、医学部と研修医教育にエビデンスに基づいた栄養教育を取り入れるための大きな機運が高まっています」と、米国医師会会長のボビー・ムッカマラ医師は述べています。「予防医療に真剣に取り組むのであれば、栄養学は医学教育の基礎となるべきであるという認識を政権が示したことを高く評価します。医師が患者と食生活やライフスタイルについて有意義な対話を行うスキルを身につけることは、健康増進と疾病予防のために私たちができる最も実践的で即効性のある対策の一つです。」

トランプ政権が米国の主要医学部の大部分と連携して行ったこの取り組みにより、研修における栄養教育の割合が増加するでしょう。2022 年に『Journal of Wellness』誌に掲載された調査によると、医学生は年間平均 1.2 時間の正式な栄養教育を受けていると回答しています。米国の医学部の 4 分の 3 は臨床栄養学の授業を必修としておらず、研修医プログラムで栄養学のカリキュラムを必須としているのはわずか 14% です。

米国保健福祉省 (HHS) は、国立衛生研究所 (NIH) が実施する複数段階にわたる栄養教育チャレンジを通じて、500 万ドルを拠出します。この資金は、栄養教育をカリキュラムに組み込む医学部、看護師養成プログラム、栄養科学プログラム、栄養士養成プログラムを支援するために活用されます。この資金は、各機関がエビデンスに基づいた栄養科学に焦点を当てたカリキュラム、臨床研修会、研究イニシアチブを開発するのに役立ちます。

今年から、公衆衛生局職員はキャリア開発の一環として、栄養学に特化した継続教育を修了することが義務付けられます。この措置は、HHS が、将来および現在のすべての医療従事者が、より健康な地域社会を支えるために必要な知識を確実に身につけられるよう尽力していることを示すものです。

参加医学部を含む詳細については、ファクトシートをご覧ください。

###

報道関係者向け情報 — 計画策定目的のみ

ケネディ長官とマクマホン長官、医学部における栄養教育の義務化に関する歴史的な合意を取り付け

米国保健福祉省（HHS）と米国教育省（DOE）は、全米トップクラスの医学部数十校を集め、医学教育の抜本的な改革に向けた包括的な取り組みを発表する予定です。

出席者：

ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官

リンダ・マクマホン教育長官

日時：

3月5日（木）午前11時（米国東部標準時）

報道関係者は午前10時30分（米国東部標準時）までにお越しください。

場所：

ヒューバート・H・ハンフリー・ビルディング、グレートホール

200 Independence Avenue SW

ワシントン D.C. 20201

出欠確認：

報道関係者は、3月4日（水）午後3時（米国東部標準時）までに取材許可証を申請してください。氏名、電話番号、身分証明書情報を明記の上、mediarsvp@hhs.gov までメールで申請してください。ご来場者全員は、入場時に有効な REAL ID またはパスポートをご提示いただく必要があります。外国籍の方は、セキュリティチェックに時間がかかるため、できるだけお早めに出欠確認の申請をお願いいたします。外国籍の方は、申請時にその旨を明記してください。これを怠ると、大幅な遅延または入国拒否につながる可能性があります。

###